

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日：令和7年10月17日

事業者名：株式会社トクデン

| 三側面 | SDGsの達成に向けた重点的な取組み | 関連するSDGsゴール (最大3つ) | 実績 | 指標・目標 | |
|-------|--|---|--|-------|---|
| 環境 | 太陽光発電設備やLED 照明の導入など、再生可能エネルギーの利用と省エネルギー化を推進 工事過程で発生する発生材（鉄・銅・SUS・アルミ・機器・油等）を手作業で細かく分別し、リサイクルを推進することで廃棄物の削減を推進している | ⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑫つくる責任 つかう責任、⑯気候変動に具体的な対策を | 事務所内照明器具のLED化：約80% 倉庫内照明器具のLED化：85% 100万円以上の工事において、工事による発生ゴミを分別して排出する割合：100% | 指標 | 事業所内照明器具のLED化工事による発生ゴミを混合ごみとして排出せず、分別して排出する割合 |
| | | | | 目標 | 2030年迄に100% 100%を維持 |
| 社会 | 清掃活動や地域ボランティア、使用済み切手の寄付を通じた社会貢献活動 大垣市との「災害時における応急活動に関する協定」により地域の防災力向上に貢献 子供向けキャリア教育教材への協賛を通じた次世代育成支援 | ④質の高い教育をみんなに、⑧働きがいも経済成長も、⑯パートナーシップで目標を達成しよう | 清掃活動ボランティアへの参加 令和7年度2回 使用済み切手の寄付 令和7年度1回 子供向けキャリア教育教材への協賛 令和7年度協賛2回 | 指標 | 清掃活動ボランティアへの参加 使用済み切手の寄付 子供向けキャリア教育教材への協賛 |
| | | | | 目標 | 2回／1年 1回／1年 1回／1年以上 |
| 経済 | 有給休暇の取得推進などによるワーク・ライフ・バランスの向上 デジタル技術の導入による業務の効率化を図る 資格取得の推進およびCPD講習受講の案内による技術者のキャリアアップ支援 公共工事のCCUS現場登録 | ⑧働きがいも経済成長も、④質の高い教育をみんなに、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう | 令和5年度より段階的に安全書類作成支援システムの導入及び工事管理システムの導入 (令和7年度において、すべての案件に適応) 年間休日：2022年度 110日→2024年度 120日 有給休暇平均取得日数：2024年度 9日 | 指標 | 有給休暇平均取得日数 |
| | | | | 目標 | 2030年度までに業界平均を上回る 平均12日を目指す |
| ガバナンス | チェック <input checked="" type="checkbox"/> | SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ・重点目標について社内共有 ・社内会議（年3回）にて進捗状況の把握に努め、社員の自主的な参加を促している | | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 http://toku-den.co.jp/home/sustainable/ | | | |